

「元気じゃけんひろしま 2 1（第 3 次）」たたき台に係る主な意見への対応等

●骨子案について

区分	No	意 見	対 応
基本方針①	1	「飲酒」、「喫煙」の「20 歳未満の者の防止対策の推進」は、生活習慣の改善や発症予防の観点ではなく、教育等の環境に関する観点であると考えられるため、基本方針②に含むのが適切ではないか。	ここで挙げている「防止対策の推進」は、幼少期からの生活習慣や健康状態が成長してからの健康状態にも影響を与える等の個人の生活習慣の観点で記載しているため、現状のとおりとします。なお、P43 基本方針②(2)企業・団体等多様な主体による健康づくりの【施策の方向性】として、受動喫煙防止対策の推進を記載しています。
	2	「○身体活動や運動量の増加」 ↓ 「○ <u>日常的な</u> 身体活動や運動量の増加」	厚生労働省によると、「身体活動」とは、安静な状態よりもエネルギーを消費する全ての動きを、「運動」とは、身体活動のうち、健康・体力の維持・増進を目的として意図的に行われるものを指しており、「身体活動」には「日常的な動き」の意味も含まれるため、現状のとおりとします。
	3	「○飲酒に関する知識の普及啓発」 ↓ 「○ <u>適正</u> 飲酒に関する知識の普及啓発」	御意見を踏まえ、「○適切な飲酒に関する知識の普及啓発」に修正します。
	4	「健診・検診」の項目が追加されたが、現行の制度では特定保健指導のための健診のため、「特定保健指導」の項目を含めた表記が適切ではないか。	ここでは、特定健診以外の健診等も想定しているため、特定保健指導については、項目には表記せず、P36 の【施策の方向性】に追記します。
ライフステージに応じた健康づくり	5	「女性の健康」について、ジェンダーレスの時代なので骨子に特出しすることは控え、表現を変えた方が良いのではないか。	御意見を踏まえ、骨子の「女性の健康」は「ライフコースアプローチ」に表記を変更します。素案においては「女性の健康」を現行計画と同様に、それぞれのライフステージのページで記載することとします。

●全体について

No	意 見 等	対 応
6	「幼少期」「乳幼児期」等の「期」について、同じものでも様々な表現が使われているため、再度精査するとよいのではないか。	御意見を踏まえ、表記を修正します。
7	【市民に取り組んでほしいこと】を【市民が取り組むこと】へ変更すると、「～します。」の表現との違和感がない。	表記については、【市民が目指すべき姿】に変更します。また、この項目は、2次計画で明らかとなった課題から抽出した、市民が主体となって取り組んでもらいたい内容を記載しているため、「～します。」の文末に統一しています。

第4章 基本方針に基づく施策

1 基本方針① 生活習慣の改善と生活習慣病等の発症予防・重症化予防に取り組みます

区分	No	ページ等	意見等	対応
(1) 栄養 食生活	8	P19 高齢世代の 目指すべき姿	「定期的に体重を測定します」について、何を目標しているのかが伝わりにくい。体重減少の注意やフレイル予防を呼びかけるのであれば、それが伝わる表現の方がよいのではないか。	御意見を踏まえ、「定期的に体重を測定し、 <u>記録します。</u> 」に修正します。
(2) 身体活動 運動	9	全体	e スポーツが流行しているが、スポーツとされている一方で身体運動には該当しないと考える。このことに、どのようにアプローチしていくか検討する必要があることから、e スポーツの文言を明記し言及してもよいのではないか。	御意見を踏まえ、(2)身体・運動のページに e スポーツについて説明するコラムを掲載します。
	10	P22 高齢世代の 目指すべき姿	身体活動・運動には、家事等の生活の中の行為やウォーキング等の運動だけでなく、趣味や生きがいの活動を入れてもよいのではないか。	御意見を踏まえ、高齢世代に「趣味の活動」を追記します。
	11	P22 働く世代・高 齢世代の 目指すべき姿	長時間の座位行動に対する取組を促しているが、座りすぎがどのくらいの時間のことをいうのか記載してはどうか。	現時点で座りすぎの時間(定義)が確認できないため、今後、策定懇談会の委員等に確認しながら、時間を記載すべきか検討します。
(3) 休養 睡眠	12	全体	コロナ禍等の影響により子どもたちのメンタルも心配であるため、睡眠だけではなく、次世代も含めた各世代を考慮したメンタルヘルスに関する表現を入れたらどうか。	御意見を踏まえ、冒頭文に「こころの健康」について追記します。 なお、メンタルヘルス対策の具体的な取組については、広島市うつ・自殺(自死)対策推進計画(第3次)で取り組みます。
	13	P25 全世代の 目指すべき姿	推奨される睡眠時間を記載してはどうか。	御意見を踏まえ、働く世代と高齢世代に睡眠時間の目安を追記します。
	14	P25 高齢世代の 目指すべき姿	「十分な睡眠」とあるが、眠れない高齢者が多く中、もっと寝なくてはならないというイメージが強くなるため、具体的な睡眠時間などを付記したらどうか。	
	15	P25 高齢世代の 目指すべき姿	「十分な睡眠・休養をとります」について、具体的に記載した方が取り組みやすいのではないか。	

区分	No	ページ等	意 見 等	対 応
(4) 飲 酒	16	P26 冒 頭	「適切な飲酒は、増大するストレスを緩和し、人間関係を円滑にする効果がある一方」という記載は、アルコール健康問題の観点からみると、ストレス・不眠解消を目的とした飲酒は多量飲酒につながりやすい問題があり、また、人間関係についてはアルコールハラスメントと感ずる場合もあり効果があるとは言えないため、(案)「お酒は、古くから祝祭や会食など、生活・文化の一部として親しまれてきている一方」に修正してはどうか。	御指摘のとおり、アルコールは様々な健康障害や社会的影響の関連が指摘されており、アルコール健康障害対策基本法等でもアルコールが良い影響をもたらす内容の記載が無いことから、該当部分は削除し、冒頭文の全体を見直し、修正します。
	17	P26 現状と課題	「20 歳未満の者の禁酒」とあるが、20 歳未満の飲酒を肯定しているかのような印象を与える可能性があるので、「飲酒禁止(防止)」としてはどうか。	御指摘のとおり、「飲酒防止」に修正します。
	18	P27 働く世代の目指すべき姿	「もう一杯をもうおしまいにします」について、具体的なアルコール摂取量を追記するのはどうか。	【市民が目指すべき姿】にアルコール摂取量を記載すると、記載量までは飲んでもよいというような誤解を与える可能性もあるため、具体的な飲酒量についてはコラムを掲載し、その中で説明します。
	19	P27 目標	【目標】③について、純アルコール摂取量の記載がgになっておりイメージがつきにくいので、具体的に何%を何mlなどとしてはどうか。	
(5) 喫 煙	20	全体	加熱式タバコの普及が若年世代への喫煙率に影響していることが考えられるため、紙巻タバコによる影響と同様であることを明示すべきではないか。	御意見を踏まえ、P28 の【現状と課題】及び P29 の【行政・団体の取組】に追記します。
	21	P28 現状と課題	「20 歳未満の者の禁煙」とあるが、20 歳未満の喫煙を肯定しているかのような印象を与える可能性があるので、「喫煙防止」としてはどうか。	御指摘のとおり、「喫煙防止」に修正します。
(6) 歯 口 腔 の 健 康	22	全体	歯科の領域においても喫煙対策や受動喫煙対策が重要であるため、歯・口腔の健康の項目に記載を入れてはどうか。	御意見を踏まえ、P31 の【行政・各団体の取組】に喫煙による悪影響についての普及啓発の文言を追加します。
	23	P31 全世代の目指すべき姿	毎日歯を磨く習慣はすでに定着している人が多いので、「毎食後の丁寧な歯みがき習慣の定着」としてはどうか。また、ブラッシングの時間も重要と考える。	御意見を踏まえ、「毎食、よく噛んで食べた後は、丁寧に歯をみがきます。」に修正します。
(7) 健 診 検 診	24	全体	子どもの頃から乳幼児健診等の健診を受けることが生活習慣病等の予防につながるため、次世代の健診についても記載してはどうか。	御意見を踏まえ、冒頭文及び次世代の取組に、関連する健診を追記します。

区分	No	ページ等	意 見 等	対 応
(8) 生活習慣病等の理解	25	P36 働く世代の目指すべき姿	ロコモティブシンドロームを記載しているが、メタボリックシンドロームは記載しないのか。	該当部分にメタボリックシンドロームを追記します。

2 基本方針② 社会全体で健康を支え守るための社会環境の整備に取り組みます

区分	No	ページ等	意 見 等	対 応
	26	全体	国の基本方針には、「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に向け、誰一人取り残さない健康づくりの展開」と記載がある。母子保健や感染症等でも外国人への対応が増加していることや認知症の者の増加等、今後おこりうる高齢化や人口減少を見据えて、健康格差が広がらないことに視点をおき、計画に盛り込むことはできないか。	健康格差については市町村の指標とすると評価困難となることから目標には設定していませんが、今後健康格差が広がらないことに視点を置く必要はあるため、P52 の「3 自然に健康になれる環境づくり」に「社会経済状況等の違いによって健康づくりに取り組むことが難しい状況にある者等を含む・・・」という文言を追加します。
	27		本計画は、広島市基本構想に基づき策定する広島市基本計画の健康づくりに関連した計画となっており、同基本計画では、「持続可能な開発の目標(SDGs)」を計画に掲げる施策の目標と位置付けているため、本計画も SDGs の着実な達成について、明文化してもよいのではないか。	SDGs については、第1章の「1 計画策定の趣旨」に記載します。
(1) 市民の主体的な健康づくりを支える地域づくり	28	全体	「地域コミュニティ活性化ビジョン」等に表示されている、自助、公助、共助等の記載がある方がよいのではないか。国の方針では、他計画や施策との連携も含む目標設定が必要であると示されており、「地域コミュニティ活性化ビジョン」等他計画との整合性が必要ではないか。	御意見を踏まえ、P39 の冒頭文に「自助、共助」の文言を追加します。
	29	P40 行政・各団体の取組	子ども食堂や高齢者の会食の機会が増えており、食を通じたつながりが健康づくりには重要となるため、地域等での共食に関する取組を追加すべきでないか。	御意見を踏まえ、【行政・団体の取組】の3つめの●に追記します。
(2) 企業団体等多様な主体による健康づくり	30	P42 現 状 と 課題	「学校教育の中で身体を動かす機会を作る」とあるが、体育の授業以上に何を求めるのか意図が不明である。	文部科学省の「子どもの体力向上のための取組ハンドブック」に『体育・保健体育の授業はもちろんであるが、それ以外の時間に運動習慣を確立するための学校教育全体での取組を通じて、運動遊びやスポーツをしたり、積極的に体を動かす習慣を身に付けたりすることが期待される。』と明記されているため、御意見を踏まえ、「日常生活や学校教育の中で身体を動かす習慣を身に付ける」に修正します。

区分	No	ページ等	意 見 等	対 応
(2) 企業 団体等多様な主体による健康づくり	31	P43 施 策 の 方向性	健康経営や ICT について、現状や取組等、具体例を記載してはどうか。	御意見を踏まえ、「オ 健康経営に取り組む企業を増やす環境整備」、「カ ICTの利活用等の推進」に追記します。 具体例については、健康経営について取り組む企業をコラムで紹介することを検討します。
	32		健康に関心の薄い者がICT(広域都市圏ポイント等)を活用し、生活習慣を改めることができるようなアプローチや、国の方針にもあるように環境を整えるような施策が必要ではないか。	

第5章 基本方針を実現するための視点

1 ライフステージに応じた健康づくり

区分	No	ページ等	意 見 等	対 応
	33	全体	国は新たな視点として「女性の健康」について示しているが、ライフステージごとの女性の健康について施策の方向性にはあまり反映されていないと感じる。	御意見を踏まえ、次世代、働く世代の冒頭文に記載します。
	34	P46 冒頭	ライフコースアプローチの説明が必要ではないか。	御意見を踏まえ、第5章の P52「2 ライフコースアプローチ」に記載します。
(1) 次世代の健康	35	全体	食事の大切さの学び(朝食を毎日食べる等)を実践に結びつけることは、子どもを育てる親にも関連するため、次世代の項目の中に包括してはどうか。	御意見を踏まえ、の(1)次世代の健康の冒頭文に親子の健康に関する内容を記載します。
(3) 高齢世代の健康	36	全体	高齢者にとって認知症の予防は大きなテーマであるため、健康寿命の延伸のためにも、認知症を意識した文章を入れてはどうか。	御意見を踏まえ、冒頭文に認知症予防の文言を追加します。